

# 民主党神戸市会議員団 活動報告

## 19年度活動方針(政務調査費等)

民主党神戸市会議員団は、昨年制定された「政治倫理綱領」及び「改正神戸市会政務調査費の交付に関する条例」を遵守した活動と執行にあっています。

政策形成に市民意見の反映等に取り組み、他の都市の先進事例調査や研究等、神戸市が抱える課題の調査研究を中長期的視点で行っています。また、議員団活動として市民の皆様への広報及び広聴の取り組みなどを積極的に行なっています。

## 第4回定例会 (2007年11月29日~12月7日)

昨年の12月定例会では、藤原武光議員(垂水区)と平木ひろみ議員(中央区)が質疑に立ちました。

藤原議員の敬老パスに関する質問に対し、矢田市長は、「現在の35億円は、今後も確保するが、低所得者対策もこのなかでの検討を、民間事業者の協力が得られるような形で協議していきたい。」とし、2月の定例会において、具体案が示されることになりました。



代表質問に立つ藤原武光議員



代表質問に立つ平木博美議員

また、今回初登壇した、平木議員は、本年5月に神戸で開催予定のG8サミット環境大臣会合を契機に、ごみの減量・資源化に神戸が積極的に取り組む姿勢を国内外に示すこと。又、公共の場における受動喫煙対策の推進が必要と訴えました。更に、学童保育の過密解消についても取り組みを要請しました。

## 医療

### 医療産業都市構想(ポートアイランド2期)

神戸医療機器開発センター(MEDDEC メデック)本施設は、実験・トレーニング用オペ室やMRIラボ等を備え、医療関連分野における新事業の創出を促進するための公的賃貸施設として期待されています。

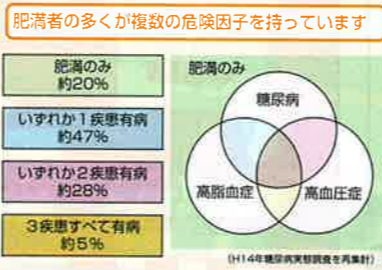
先端医療センター(PI2期)PI2期の「先端医療センター」を中心とした各種機関の集積が着実に進み始めています。最新技術が集約された放射線治療装置も、これから臨床試験に入ることになり、今後の医療知的集約型都市づくりにさらに注目が集まりそうです。



薬事法承認された高精度放射線治療装置(先端医療センター)

### メタボ対策先進の町・見附市

今年4月から、特定健診・特定保健指導が本格始動しますが、新潟県見附市では、早くから本格的な健康増進運動や管理プログラムの導入に取り組まれてきています。お聞きすると、ご病気をされた前市長が、健康増進に市を挙げて取り組むべきだ、と、若い職員を専従させて国などに派遣したことから始まったとか。現在、健康運動教室には、人口4万数千人の市民のうち、1100名ほどが通っていて、教室を中心とした人の輪も広がり、思わぬ副産物としてコミュニティもできていました。



## 健康

## 教育

### 公立中学における有料授業

杉並区立和田中学校の有料授業「夜スベ」が話題です。話題の藤原校長から「和田中学の学び」について説明を受けた上で、現場を見学させていただきました。取り組みを支えているのは、校長の指導力と「地域人材の確保」。夜スベは、これまで土曜に寺子屋形式で行なっていたボランティアの授業など、さまざまな取り組みの延長線上にあります。そこで、和田中学校での積極的な取り組みは、大変得るところの多い視察でしたが、地域のボランティアの力を「トップダウンで」結集できるかなど、甚だ疑問が残りました。



東京都杉並区立和田中学校

### 過密解消が喫緊の課題・児童館

学童保育の視察では、利用者増加に伴う過密状況を実感し、過密解消対策が必要になっています。解決のためには、小学校余裕教室の利用や、学童保育コーナー建設など、地域の協力を得て検討していくことになりました。要望の多い保育時間の延長など、さらなる学童保育の充実のためには、適正な保護者負担について理解を得ることも必要になります。子ども達の放課後の安全確保と健全育成に真剣に取り組むよう要望しています。



## 子育て

## 観光

### VISIT JAPAN

日本人の海外旅行者が約1600万人であるのに対して、わが国を訪れる外国人旅行者は、その3分の1以下に過ぎません。これを解消するため、H15年春に、国・自治体・民間企業が一体となった、ビジット・ジャパン・キャンペーン実施本部が立ち上げられ、外国人旅行者の訪日促進を様々な事業が展開されてきました。事業内容のお話を伺い、地域が主体となった観光への取り組みは、「神戸でも活かせる」という確信を得ました。



## 環境

### 資源循環アイランド・宮古島

県会・市会の環境部会のメンバーを中心に、宮古島の調査に行ってきました。宮古島は、サンゴ礁でできた島。川も無く水に苦労していましたが、逆にサンゴ礁の土壌を利用して地下ダムを作り、豊富な地下水として農業に使っています。人が地上で使った水は作物を通して、また人に巡ることに。資源循環に対する意識も高く、サトウキビの搾りかすからの発電や、廃蜜と呼ばれる廃棄物からエタノールを取り出すプラントなどが本稼動していました。が、E3ガソリンを巡っての課題についても生の声を聞くことができました。



環境省地球温暖化対策技術開発事業 バイオエタノール生産設備

### 新潟県ナノテク研究センターin長岡

「ナノテク」、最近よく聞く言葉ですね。「ミクロン」が1mmの1000分の1、髪の毛は数十ミクロンです。「ナノ」は、1ミクロンの更に1000分の1の長さ。どんなに小さい単位か想像できますか? 長岡市の「ナノテク研究センター」では、ドライエッチングやスパッタリングの装置のほか、微細加工のできるナノ加工機を時間単位で企業にレンタル、例えば微細加工の必要なレンズの金型製造などに活用されています。こうした技術も視野に入れて、産業振興に取り組んでいきたいと思っています。



## 産業

### 日鋼記念病院、メンタルケアセンター

北海道メンタルケアセンター(苫小牧市) 大学病院水準の診療部門「メンタルケアセンターわかさ」では、障害者の積極的な社会参加する工夫がなされ、併設されているデイサービスでは、利用者で賑わい、活気が感じられました。日鋼記念病院(室蘭市) 道内第1号の独立型緩和ケア病棟をもち、医師・看護師で編成するチーム医療で終末期への対応をされているすばらしい施設でしたが、産婦人科の閉鎖など副院長からは深刻な医師不足の現状をお聞きしました。



## 病院

深刻な医師不足の現状におかれています。道内の3次救急病院